



断面図の空間をパースで見る。土間における外と内の関係を結びつけ、明るく心地よく過ごせる空間となる

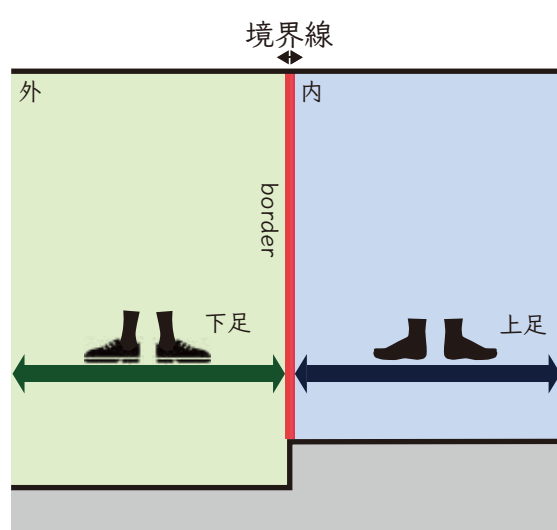


旅館や温浴施設など、大きな玄関を持つ施設に居り土間を設ける。新たな人の居場所となり、庭の景色をゆっくりと見ることがなかった人も楽しむことができる

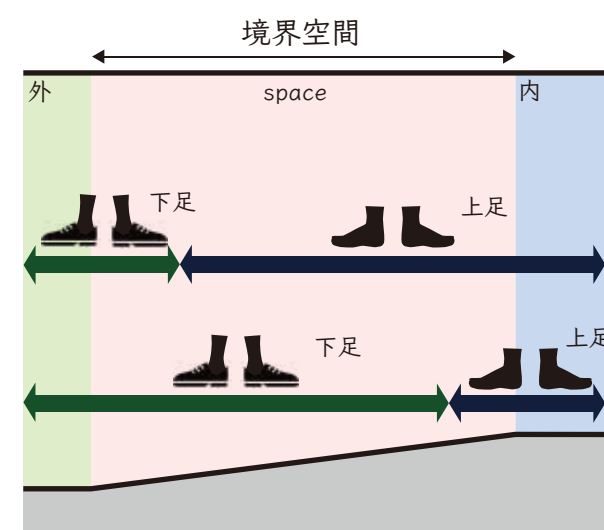
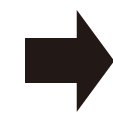


集合住宅などの小さな玄関に居り土間を設ける。玄関をオープンな空間にするため、集合住宅全体の計画を工夫する必要があるが、玄関をオープンにすることで部屋に明るさをもたらす

境界線を空間にする



段差の上がりがある土間は、靴を履く・脱ぐ領域がはっきりとしており、空間を隔てる境界線ができています



段差による境界線を境界空間に変化させることで、隔たりを曖昧にし、靴を履く・履かないなど、より多様な形で内と外の間領域を利用する

多様な使い方



人の趣味によって使い方を変えたり、夏にはひんやりするタイルやコンクリートに座れるようにしたりなど、人や時間の違いによって様子が変わる。フローリングなどの床では無いような風景が生まれる